

GINGA通信



第39号【年2回発行】

- **ぎんが工房** 障害福祉サービス (就労継続B型・生活介護・日中一時)
- **きららベーカリー** 障害福祉サービス (就労継続支援B型)
- **コスモス** 障害者支援施設 (施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時)
- **コスモス通所** 障害福祉サービス (生活介護)
- **びゅー** 居宅介護・行動援護・移動支援・日中一時支援 等
- **きらり** 放課後等デイサービス
- **相談室りゅうおう** 障害児者相談支援・自立生活援助・地域移行支援等
- **雀のお宿 I・II・III** 共同生活援助
- **雀のお宿** 認知症高齢者グループホーム
- **おひさま** 障害福祉サービス (生活介護)
- **らしりば** 障害福祉サービス (就労継続支援A型)
- **ミラテラス** 共同生活援助

社会福祉法人 **ぎんが福祉会**
 〒400-0118 山梨県甲斐市竜王 267-3
 TEL 055-278-2266 FAX 055-278-2267

ごあいさつ

日頃より、ぎんが福祉会へのご支援、ご理解、ご協力を頂きまして心より感謝申し上げます。

平成10年に開設した「雀のお宿」は、利用者・ご家族・ボランティア・地域の皆様方のご支援をいただき25年が過ぎました。先日、平成11年12月にUTYのニュース番組の特集「福祉最前線」の中で「雀のお宿」が紹介される映像が見つかり、高齢者の皆さんと観る機会がありました。

小松理事長、当時の施設長・小松ヨ子さん、若かりし頃のおひさま・久保施設長のお姿がありました。その中で、理事長と小松ヨ子さんがお話されていた事は、『みんなで支えあって生活していく事は、高齢者が歩んで来た力の蓄積と、障がいをもつメンバーの自分も役にたつという思いが自立に繋がっていく。介護と支援の共立を目指しています。』という内容でした。これは「共同ホーム雀のお宿」を設立した理由でもあります。私たちは、このことを今後も引き続き繋げていく事が大切だと感じています。

人の出会いには、意味があるといえます。感情を表に出さない92歳の高齢者が、お誕生日に障がい者メンバーからの「お誕生日おめでとう」の手紙に涙を流しながら、「ありがとう」と挨拶をしている映像が写し出されました。現在、新型コロナウイルス感染症の影響から、高齢者と障がい者メンバーとの交流も控えるようになりました。しかし、仕事から帰って来た障がい者メンバーに支援員が気づかずにいると、高齢者の方が「帰ってきたよ」と教えてくれることもあります。一緒に暮らしているからこそ、理解しているのだと思います。

新型コロナウイルス感染者が増えている事で中止になっている「ぎんがフェスティバル」は、今年も開催されることなく夏が終わりました。この感染症が一日も早く収束し、参加される皆さんのいつもと違う笑顔が見られるこの夏まつりが、来年は開催されることを節に願っています。

雀のお宿管理者 中丸いづみ

主催/独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

写真コンテストにおいて **理事長奨励賞受賞**

さをり織りで生まれる生地や糸をアップサイクルして、新たな製品を作るために「1本1本」糸分けする作業を、真剣な眼差しで行っている、ぎんが工房利用者のYさん。



ぎんが工房

令和4年9月16日(金)～20日(火)、千葉県のイオンモール幕張新都心にて『全国ナイスハートバザール2022inちば』が開催されました。主催は全国社会就労センター協議会(SELP)、販路拡大・障がい者の工賃向上を図ると共に、広く国民の理解を深めていただき、障がいのある方々の社会参加を促進することを目的としています。

今回、ぎんが工房は初出店しました。販売した商品は、クッキー(メッセージは『ありがとう』『感謝を込めて』『ほんの気持ち』)にリボンを付けました。織り(コースター3枚入り・額入りファブリックアート・バック)商品を手にとってもらえるように工夫しました。陶芸(箸置きは、ハス・オリーブの葉2個入り)桐箱に入れ、イラスト付きの帯で飾りました。



メッセージクッキー



額入りファブリックアート



箸置き(ハスとオリーブの葉)



コースター3枚



桐箱に2個入り

『第49回国際福祉機器展2022』が10月5日(水)～7日(金)、東京国際展示場『東京ビックサイト』にて行われます。ぎんが工房の商品(箸置き)をアンケートに答えて頂いた方への景品として取り扱って頂ける事になりました。陶芸商品(ハス・オリーブ箸置き)が景品として会場で配られます。



きららベーカリー

第3弾！ 元気甲斐プレミアム付き商品券の取り扱い店

甲斐市では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民生活と地域経済を支援する為、プレミアム付き商品券の販売をしています。使用期限は、令和4年7月1日(金)～令和5年1月31日(火)です。甲斐市内の495店舗で使用できるようになっています。きららベーカリーでも甲斐市商工観光課へ取扱店として申し込み、7月は16万円分・8月は20万円分の商品券をご利用いただきました。お客様の中には商品券取り扱い店一覧表を見て買いに来てくださった方がいました。きららベーカリーでは、「小規模店専用券」「全店共通券」どちらも使用できますので是非ご利用ください。



10/1発売の山梨クチコミ情報誌Say.say.say10月・11月号に『パン好き御用達のおいしいパン屋さん』というテーマで掲載されます。内容は、きららベーカリーおすすめ商品として、季節の味覚食パン3種・クリスマス期間限定シュトーレン・人気のハード系パンを掲載します。





新型コロナウイルスの終息が未だ見えない中、入居者の方々には制限のある生活を続けてもらっております。皆さんとの会話の中で「遊びに行きたいね〜」「みんなで夏祭りをしたいね〜」「外食に行きたいね〜」等の要望が多く聞かれ、楽しい行事が計画できる日を心待ちにしている日々となっています。そんな中、雰囲気作りではありますが、夏祭りや十五夜をイメージした壁面飾りづくりに皆さんと一緒に取り組みました。具体的な計画案を話し合ったりして、想像の中ではありますが大笑いしながら大変盛り上がっています。いつか実現できた時にはみんなで目一杯、楽しむつもりです！



秋の気配を感じる頃になってきました。「食欲の秋」が大変似合うミラテラスの皆さん。先日は頂いた大きなかぼちゃを煮物にして、みんなで美味しく頂きました。「食」を通して季節感を味わい、楽しみの一つとなっているように今後も様々な企画を考えていきたいと思っております。



今年の6月で開所から2年を迎えることが出来ました。クッキーの生産で忙しい日々ですが、「毎日過ごす環境をキレイにして気持ちよく働こう！」ということで、本格的な暑さになる前に施設内外の環境整備を行いました。熱中症・コロナ対策を行いながら、各自施設周辺の草刈りやゴミ拾い等を行いました。



毎日暑い中でのクッキー製造は大変な作業です。日々の暑さや疲れを少しでも癒せるようにと、お昼休憩の際に時々「デザート」を提供しています。ある日はホットプレートで「巨大どら焼き」を職員が作り、利用者に振る舞いました。大きなどら焼きを切って皆で分け合いましたが、それでも中々の大きさ！「食べきれるかな？」といった声も聞こえましたが、気づけば皆さん完食！

また、別の日にはかき氷を作りました。好きな味のシロップを選び、色とりどりのフルーツを乗せて完成！冷たいかき氷で暑さをしのぎました。

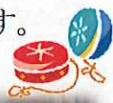
新型コロナウイルスの終息が未だみえませんが、引き続き感染対策をとりながら、時には日頃の疲れを癒せる時間を作っていきたいと思えます。



🌸🌸🌸🌸🌸🌸 グループホーム雀のお宿 (高齢者) 🌸🌸🌸🌸🌸🌸

今年もコロナウイルス感染防止対策により外出支援や、外部の方を招いてのボランティア活動は行えていないのが現状です。利用者の皆さんがストレスを溜めないよう、室内での活動を充実させるべく、日々、試行錯誤しています。天気の良い日は日光浴をしながら談笑したり、ラジオ体操を行い、少しでも体を動かす機会を作るようにしています。気分転換を兼ねお散歩をする方もいます。庭を1周するだけでもヘトヘトで、ベンチに腰掛け小休憩。雨の日は廊下を往復し歩行訓練、足の筋力を落とさないよう頑張っている方もいます。個々にゆっくり過ごしたい方は塗り絵や読書、書写をしたりと、皆さん自分のペースで生活されています。

8月に利用者の皆さんとゼリー作りに挑戦しました。作業をお願いすると、「いやだよ～」と言いながらも、慣れた手つきでお玉を持ち、かき混ぜてくれました。出来上がったゼリーは、皆さんでおいしく頂きました。「美味しいよ、ありがとう」と言ってくれる言葉に職員みんな、とても励まされます。



🌸🌸🌸🌸🌸🌸 グループホーム雀のお宿 (障がい者) 🌸🌸🌸🌸🌸🌸

新年度を迎え、雀のお宿では様々な出会いと別れがありました。新たな生活に向かい3名の方が退所されました。別れは辛いですが、最後にみんなと記念撮影！笑顔で送り出すことが出来ました。7月には新メンバーを迎え、現在、利用者15名で毎日にぎやかに生活しています。新型コロナウイルスの影響で、高齢者との合同レクリエーションは行えない状況が続いています。食事は個々に居室で済ませたり、食堂でも密にならないよう、間隔を空けながら着席しています。利用者同士、交流の場が少ないのは何か寂しい気はしますが、それでも雀のお宿の皆さんは一人の時間を満喫しているようです。ゆっくり居室でテレビを観たり、漫画を読んだり…、ピアノが上手な方は何曲か弾いて職員に聴かせてくれます。休日は書道を楽しむ方もいます。何枚も書いては「どれが一番うまい～？選んでくれる～？」と嬉しそうな表情を見せてくれます。また、施設の庭の草取りを自ら行ってくれる方もいます。近い将来、みんなとワイワイお話ししたり、食事をしたり、外出できる日が来ることを願いながら生活している今日この頃です。





おひさま



4月23日(土)、グループ企画として、おひさまでバーベキューを行いました。食材を皆でカットし、鉄板で焼いて食べました。デザートには手作りバームクーヘン!!木の棒に、作っておいた生地を少しずつかけ、両端を2人で持って炭の上でクルクル…。これをひたすら繰り返し、じっくりと時間をかけて作りました。トッピングには、いちごと生クリームをのせました。お肉、野菜、フランクフルト、焼きそば、バームクーヘン…。おかわりもしながらたくさん食べて、「美味しかった!もうお腹いっぱい!」と皆さん大満足な様子でした。



8月3日(水)、夏恒例のスイカ割りを行いました。始める前に、実際にスイカを1人ずつ持ってもらおうと、「お〜っ!」とその大きさと重さに驚いている方もいました。力いっぱい棒で叩いても、大きなスイカはなかなか割れず…。苦戦しながらも挑戦し続け、なんとか割れました。厳しい暑さのなか、皆で協力して割ったスイカの味は最高でした。

相談室りゅうおう

最近、あるホームヘルパー事業所の管理者の方と話をすることがありました。

その事業所では、重度訪問介護で難病や重度の身体障害の利用者の支援を行っており、喀痰吸引などの医療的ケアが必要な利用者の支援も行えるように、所属しているホームヘルパーは全員医療的ケアの研修を受講し体制を整えているとのことでした。

特にニーズとして多い支援が、夜間の身体介護、見守りで、夜～翌朝まで重度訪問介護での支援を行っており、利用者の疾患によっては、1時間に数回喀痰吸引を行ったり、体位変換を行ったりしている、との話でした。

相談室りゅうおうでも、重度の身体障害のある利用者の計画相談を担当していますが、夜間、自宅での介護はご家族が行っている、というケースが多いです。今までは、ご家族の負担軽減の為にできる方法としては、短期入所1択でした。しかし、短期入所を利用できる場所が少なく、また、利用希望者が短期入所の空床数を上回っており、ご家族の希望通りに利用が出来ない、というのが現実でした。

しかし、最近、夜間、重度訪問介護で支援が出来る事業所が少しずつですが増えてきたので、短期入所以外の選択肢をご本人、ご家族に提案をすることが出来るようになりました。

地域に足りなかったサービスが増えることで、利用者の生活の幅も広がり、ご家族の介護負担軽減にもつながる、と改めて感じました。

今回は、たまたま法人外の事業所の話題でしたが、当法人も地域の福祉の成長の為に努力をしていきたいと思っております。

相談室りゅうおう管理者 山本 祥和



コスモス入所

感染対策を行いながら6月に魚釣り大会を行いました。事前に利用者の皆さんに魚の塗り絵をしてもらい、完成した塗り絵をラミネート加工してゲームに活用しました。カラフルな魚が出来上がり利用者の皆さんも「いつやるのー？」と楽しみな様子で魚釣り大会の日を迎えました。魚の裏には点数が書いてあり、釣った数ではなく裏の点数で競うので、たくさん釣ってもマイナス点になってしまうことも...。「大きい魚は点数高いかな?」「小さい魚の方がたくさん釣れるぞー!」「1位を目指す!」とハラハラドキドキなゲームで盛り上がりました。個人戦優勝者にはメダルを、団体優勝のチームにはマスクをプレゼントしました。皆さん楽しんでくれたようでレクが終わってからも「本当に楽しかったわー。またゲームしたい!」と声を聞く事ができました。

外出の機会がないため、利用者一人ひとりが楽しめるようなレク活動をたくさん考えていきたいと思ひます。

釣り大会



コスモス通所



こんにちは。通所では通常のレクレーションに加えて、季節を取り入れた活動を行っています。

今年の夏はとて暑かったので、かき氷やスイカ割りを楽しみました。また、コスモスの菜園で実った野菜(じゃがいも・ピーマン・トマト・オクラ・なす)を使ってオムレツやビシソワーズを作りみんなで美味しく頂きました。コロナに負けず、毎日みんなの笑顔に囲まれて楽しく過ごしています。秋には味覚を！冬には冬遊びを計画していますので楽しみにしてください。



びゅー

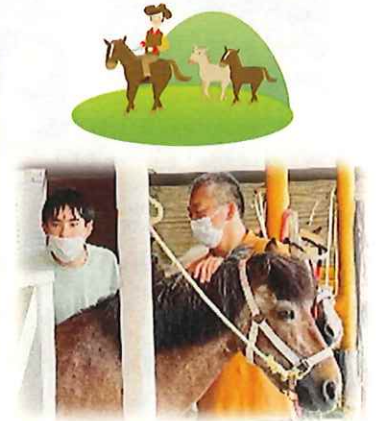
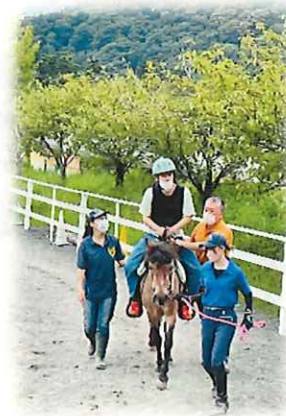
びゅーでは、今回も新型コロナウイルスの影響で、イベントや行事等はできませんでしたが、その中でも個別で外出支援をすることができたので紹介します。

6月に、少し遠出をして、富士吉田の浅間神社へ行きました。暑くなり始めた陽気でしたが、境内は木々に囲まれているおかげで涼しく、ゆっくりとご参拝することができました。

その後八木崎公園へ。広い芝生があり、河口湖半を眺められる開放的な場所で昼食を食べました。「ここいいね！初めて来たけど気に入ったよ！」と、喜んでくださり、久しぶりの外出を満喫することができました。

8月は乗馬センターへ行き、お気に入りの馬と一緒に乗馬のレッスンをしました。レッスンでは、騎乗姿勢を保ちながら、発進・停止・駆け足等の指示を馬に出す練習をしました。上手に手綱が操作できていたようで、「上手だよ！」とスタッフの方が褒めてくれました。その後は、馬具を外してブラッシング、馬小屋の馬たちに、ニンジンのエサやり等、馬とのふれあいを楽しみました。

これからも、感染対策に気を配りながら、みなさんの希望に沿った支援をしていきたいと思えます。



きらり

きらりでは新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、夏ならではの活動ができるように取り組みました。水遊び、すいか割り、ヨーヨー釣り等、夏を感じられる遊びに加え、今年はアイスクリーム作り挑戦しました。氷を入れた袋を「つめたい！」とびっくりしながらたくさん揉んで、手を冷やしながらか頑張ってシャーベット状のアイスクリームを作ることができました！自分たちで作ったアイスクリームの味は格別で、「甘いね」「美味しいね」と言いながら楽しいおやつ時間を過ごしました。

夏休みはあっという間に終わってしまいましたが、きらりのお子さん達にこの夏休みの体験が楽しい思い出として残ってくれると嬉しいです。





日々お世話になっている方々をご紹介します

給食編

徹底された衛生管理のもと、栄養バランスの取れた安心・安全な給食を提供していただいています。行事食では(おせち・節分・ひな祭り・七夕・クリスマスなど)、趣向を凝らしたメニューで季節感を味わうことができ、味付けはもちろん、硬さや柔らかさ・食べやすさも工夫されています。



十五夜給食
月見そば

🍒 日清医療食品(株)
コスモス厨房のみなさん
(コスモス・雀のお宿の給食を提供)
利用者様のご意見を取り入れながら、喜んで頂ける献立を作りがんばっています。

コスモスでの食事形態は、常食・一口大・粗きざみ・きざみ・小きざみ・ムース食。それぞれの利用者様に添った形態で提供しています。
温冷配膳車。出来上がった料理は温・冷それぞれキープ！
いただく直前までいれておきます。



マーボ豆腐・春雨サラダ

🍒 日清医療食品(株)
おひさま厨房のみなさん
これからも、継続して楽しみに待ってもらえるような食事を提供していきたいです！



チキンカフェ風サラダ・ミネストローネ
パン・(手作りブルーベリージャム添え)

🍒 ぎんが工房厨房 山口安保栄養士
ぎんが工房に勤務し16年が経ちました。毎月おこなう嗜好調査を踏まえ、利用者が好むメニューを考えています。行事食や月に一度のお楽しみ給食は、特に利用者も楽しみにしてくれて、作り甲斐があります。これからも「美味しく喜ばれる食事を安全に提供」、できるように心掛けていきたいと思ひます。



山梨県共同募金会様より 令和4年度(令和3年度配分) さらばベーカリーへ石窯を寄贈して頂きました。赤い羽根共同募金に寄付して下さった県民の皆様の善意に感謝をし、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



《編集後記》 月日の流れは早いもので、もうすぐ紅葉の季節ですね。感染対策の事ばかりの日常で、運動不足や不眠など心身の不調が出ないように、リフレッシュできる環境を積極的につくり体調を整えましょう。良質な睡眠・栄養バランスのとれた食事・適度な運動・便秘解消・よく笑う！ 免疫力をUPしてコロナに負けないよう頑張りましょう。
ぎんが通信発行にあたり、今回も大勢の皆様にご協力いただきありがとうございました。 《広報委員一同》